



さいたま市立大宮南中学校

わかとり

学校教育目標 輝く個性 夢きらり

学校だより 5月号

令和6年5月2日(木)発行
〒330-0834

さいたま市大宮区天沼町2-362
TEL 641-1142 FAX 641-5356

我がまちに誇りをもつ

校長 田村 浩司

大宮南中学校の緑豊かな環境は、5月になって草木の若葉が一段と鮮やかになってきました。4月12日(金)の授業公開、全体保護者会、学級懇談会や修学旅行説明会、さらには23日(火)の部活動保護者会に、保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。年度当初の授業公開でしたが、特に1年生の教室では、多くの皆様に学校の様子をご覧いただくことができました。少しずつ授業が本格的に展開されてきているところですが、今後も、保護者の皆様に授業公開の機会をつくってまいりますので、引き続き学校の教育活動を見守っていただきますようお願いいたします。



G・Sの授業の様子(1年生)

さて、5月1日はさいたま市民の日でした。私は、本校に着任して2年目ですが、地域の方々に温かく見守られながら、南中の子どもたちが、はぐくまれているということを感じます。大宮南中学校は、昭和24年4月に第一中学校(現大宮東中学校)から分離し、在校生627名をもって発足されました。静寂の氷川参道の近傍に位置し、大宮駅、さいたま新都心駅周辺の市街地や官公署、緑豊かで閑静な住宅街の中に現在もあります。

私は、着任してから、新春ふれあいコンサートでの吹奏楽部の演奏や、地域のイベントでボランティアとして活躍する南中生など、たくさん見ることができました。

本年度も、子どもたちが地域に誇りを持ち、主体的に行動できる生徒をはぐくんでいきたいと考えております。(ちなみに、5月3日の14時から「大宮図書館開館5周年 未来へ奏でるコンサート」に本校吹奏楽部が出演します。)

さいたま市民憲章

おおらかな荒川の流れと、見沼たんぼが豊かに広がる武蔵野のみどりにいだかれたさいたま市は、街道や鉄道のかなめとしてにぎわい、歴史をかさねてきました。先人たちはここに集い、学び、祈り、美しさと深い味わいをたたえた独自の文化を育て、教育やスポーツのさかんな風土を培ってきました。このまちを誇りとし、ともに時をかさねる私たちさいたま市民は、だれもが自分らしく生きてゆける社会を築きたいと願い、このまちを未来につなぐ確かな道しるべとして、ここにさいたま市民憲章を刻みます。

私たちは、
まちの歴史や伝統を受け継ぎ豊かにはぐくんで、明日の世代に伝えます。
小さないのちの大きな未来を信じて、子どもをみんなで支えてゆきます。
みずから学び言葉をみがき、新たな挑戦を志し、自分を耕しつづけます。
深く思いやり、広く理解し手を取りあって、ちがいを力にしてゆきます。
空も水も、草木も花も里山も、ともにある美しい都市を創ってゆきます。

市制施行20周年記念
令和3年7月1日制定